

■欧州：ENTSO-E が、今後 10 年の送電設備増強計画のドラフト版を発表

欧州送電系統運用者ネットワーク（ENTSO-E）は 2012 年 3 月 1 日、今後 10 年間の欧州域内の送電設備増強計画（TYNDP：Ten-Year Network Development Plan）のドラフト版を公表した。ENTSO-E によれば、今後 10 年間に欧州域内において合計 5 万 1,500km の送電線の新設あるいは改修が必要で、約 1,040 億ユーロ（約 11 兆円）の投資が必要であるという。1,040 億ユーロのうち、約 301 億ユーロが 2022 年までの原子力完全廃止を決めたドイツ、約 190 億ユーロが北海に大規模洋上ウインドファームの建設を計画する英国における設備増強に関する投資で、両国で全体の半分程度を占めている。TYNDP は、今回発表されたドラフト版に対する意見募集（4 月 26 日締切）を経て、今夏にも正式版として公表される予定である。